

いる。先の尖ったプライヤ - などを2つの穴に入れてリングをまわすと外れる。このリングを持ち上げて外すと巻き取りレバ - を支えている3本のスクリーウが見えてくるので、これを通常の方法で弛めて外す。次にバヨネット(爪のついた輪)のような黒い金属リングをまわし、巻き取りレバ - を持ち上げると外すことができる。ボディハウジングの右端の装飾リングとスクリーウも外しておく。

スピードダイアルの取り外し

スピードダイアルは、中央にある二つの小さな穴にピンセットの先端を差込んで弛めて外す。メ - タ - の装着されていない旧型ペンタックスの場合、シャッタ - スピ - ドノブは外周のセットスクリーウを弛めるだけで簡単に外れる。スポットマチックの場合は、シャッタ - スピ - ドダイアル(円盤)とフィルムスピ - ドダイアル(円盤)を先に外してからノブを取るようにする。大きなコイルスプリングも出てくる筈だ。これでペンタックス上部右側の部品の取り外しは完了したことになる。

巻き戻しノブの取り外し

ペンタックスの巻き戻しノブは他のカメラと同様全体を弛めるだけで外れる。シャフト自体にネジが切られていて、裏蓋を開けてフォーク(爪)状の巻き戻しシャフトの間にテ - ブルナイフかドライバーを差込みシャフトが回転しないように押さえて、ノブを左にまわしてやれば簡単に弛んで取り外すことができる。

ノブの下には飾りのプレート(板)があり、通常これは2つ穴のあるリングに支えられている。ピンセットの先端をこの二つの穴に入れて弛めて外す。更に飾りプレートがその下にあり、これは簡単に外れる。この下にメーター調整時によく使う小さな穴がある。小型のドライバ - をこの穴に差込んでメーター調節

用の可変抵抗のア - ムを動かすことができるようになってい。メーターの調整はこのアームの回転だけで、極めて簡単で巧い設計である。

トップカバーを外す

これでカメラ上部全体をしっかりと持ち上げれば外すことができる。巻末のピクチャープレート参照。

このテキストの図は私がスクールで黒板に書いて説明するために使う絵で主なポイントだけを示したラフな図である。

スピ - ドセッタ - ダイアルの下にあるポテンショメーター(可変抵抗)は汚れて接触不良になり易く、場合によっては取り替える必要がある。この可変抵抗のア - ムを少し曲げるだけで接触不良が解消することもある。ラジオの音量ボリューム用の清掃クリ - ナ - を使うのが良く、スプレイ式のものがお - ディオショップなどで入手可能である。もしこれでも直らないようなら、新品との交換が必要でメ - カ - から購入するか、又は不要になったカメラから取り外して転用する方法もある。この場合は先ずポテンショメーターの上の部品を外し、ハンダ鋺で2本のワイヤ - を外して、小さな茶色のプラスチックプレートを支えている3本のスクリーウを外す。部品を交換した後は2本のワイヤ - を間違わないようにハンダ付けしなければならない。黒い線は可変抵抗の一方に行きバッテリー - に繋がっている。黄色の線はカメラの左側にある小さな銅板に行き、ここからハンダ付けされた線がメ - タ - に行っている。カメラによって違う事もある。

ッチを直すのと同じように接点をクリーニングするだけですむ。メーターの原理については後述する。

